

CONTENTS

目次・編集方針・グループ概要

トップメッセージ

サステナビリティマネジメント

価値創造

環境

環境マネジメント

気候変動への対応

製品・容器包装の3R

廃棄物等の管理・削減

水資源の保護

有害化学物質の管理・削減

生物多様性の保全

社会

ガバナンス

製品・容器包装の3R

環境アクションプラン2025年度実績[概要] ▶ p.038

環境アクションプラン2026年度目標[概要] ▶ p.039

基本的な考え方

世界がサーキュラーエコノミーに向かう中、社会の一員である企業には廃棄物の発生そのものをできるだけ防ぎ、環境影響をできるだけ減らすような製品ライフサイクルを考えることが求められています。

ニコングループはニコン環境方針の中に循環型経済への対応として、原材料使用量の最適化や製品寿命の延長などによる資源効率の最大化、バージン資源の利用からの脱却、そして製品のライフサイクルにわたる環境配慮を掲げ、製品の開発、設計段階において製品・容器包装の3R（リデュース・リユース・リサイクル）に取り組んでいます。

 ニコン環境方針

戦略

リスク

製品および容器包装の資源循環に関する規制（廃棄物再利用義務化、課税）やプラスチック使用量情報開示の義務化など、各国で法規制が強化されています。法規制が強化されるにつれ、再利用資源が市場で不足傾向となり、調達難や高コストなどのリスクが想定されます。併せてサーキュラーエコノミーが進み市場や消費者の製品選択における嗜好変化への対応が遅

れることで、売上減少に加え社会的信用の失墜や投資の引き上げ等のリスクもあります。

機会

プラスチックをはじめとする資源の使用量削減や効率的な利用による事業コスト削減、サーキュラーエコノミーへの移行に貢献する技術・製品の提供による事業拡大やステークホルダーからの信頼獲得を機会として認識しています。

ニコングループが取り組む3R施策

- リデュース
 - ① 環境負荷の小さい材質選定、小型化、部品数削減促進
 - ② 製品の長寿命化
 - ③ プラスチック包装材の削減
 - ④ プラスチック容器、包装の紙・植物由来プラスチック材への切替促進
- リユース
 - ① 製品、部品、材料、包装材の再利用推進
 - ② 中古機販売の拡大
 - ③ 中古機販売の継続推進、可否判断
- リサイクル
 - ① リサイクル材の新規採用決定
 - ② リサイクル材の採用推進（調査等）
 - ③ プラスチック包装材のリサイクル材への切替推進

戦略

ニコングループは多種多様な製品を扱っているため、それぞ

れの事業の特性を踏まえた戦略が必要です。ニコングループではリデュース、リユース、リサイクルに必要な施策を整理し、事業ごとに適切な目標を立てて取り組んでいます。

ニコン環境長期ビジョンとニコン環境中期目標 ▶ p.030

ガバナンス

ニコングループでは、ニコン環境アクションプランを基に各事業部門で独自目標を設定し、製品部会傘下の製品環境関連会議体にて、進捗確認や対応方針を検討・決定しています。また、これらの会議体にて製品の環境法規制に関する情報共有を行い、環境配慮製品の開発や製品・包装材の3Rを推進しています。実績については、半期ごとに品質委員会および製品部会で報告しています。

環境推進体制 ▶ p.032

リスク管理

製品の資源循環に関するリスクを回避するため、法規制の最新情報や他社の取り組み事例を製品環境関連の会議体にて各事業部門に共有しています。各事業部門は、製品の企画・開発段階、および試作・生産段階で製品アセスメントや包装アセスメントを行い、事務局はアセスメント結果や3Rの取り組み状況をこれらの会議体で確認しています。

環境に関するリスク管理 ▶ p.035

CONTENTS

目次・編集方針・グループ概要

トップメッセージ

サステナビリティマネジメント

価値創造

環境

環境マネジメント

気候変動への対応

製品・容器包装の3R

廃棄物等の管理・削減

水資源の保護

有害化学物質の管理・削減

生物多様性の保全

社会

ガバナンス

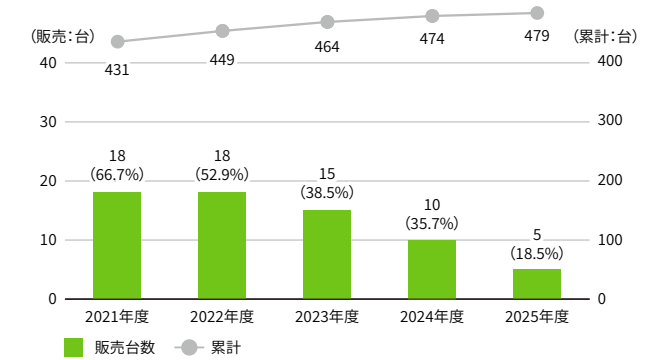
主な取り組み

露光装置の中古品再生販売と投影レンズ再生

ニコングループは、お客様が使用しなくなったニコン製の半導体露光装置を中古品として引き取り、国内外の新たなお客様向けに再生・部品交換・調整・据え付けを行うサービスを事業化しています。この事業は、ニコン製品のリユースを自社グループで自らが実践している事例で、2025年度までの累積販売台数は479台に達しています。また、2024年度よりFPD露光装置についても再生、アップグレードを行うサービスを開始しました。

そのほかにも、お客様先での長期使用により劣化し、基本的な露光性能を保つことができなくなった投影レンズを、ニコンの最新技術を用いて再生・リプレースすることで露光装置の延命化にも取り組んでいます。

● 中古露光装置(IC用)の販売台数推移



※()内は全販売台数に対する割合。

製品の長寿命化

ニコンではお客様にご愛用いただいている製品を長期間ご使用いただけるよう、「ブラザ点検パック」および「定期メンテナンス」を点検・清掃を行うサービスとして提供しています。

ブラザ点検パックメニューはカメラ用品の日常のお手入れとして、東京・大阪にあるニコンプラザのサービスセンター窓口で、カメラとレンズ、その他アクセサリーの点検・清掃を行うサービスです。

定期メンテナンスサービスとは、お客様のご愛用のカメラ機材・レンズ各部作動点検、精度確認ならびに細部にわたる清掃ほかを点検用機材・装置が完備された環境で行うサービスです。

また、古いFPD露光装置についてもお客様に長い間ご使用いただくため、投影レンズのリフレッシュやアップグレードを実施しています。

さらに、2025年に受注開始したFPD露光装置「FX-88SL」はFPD露光装置として初めてUV-LED（紫外線LED）光源を搭載しています。従来のランプと比較し、寿命が長いことから装置を長期間使用できることが期待できます。

生産性と環境価値を高める FPD 露光装置 ▶ p.027

バッテリーのリサイクル

ニコングループは、日本市場において回収された使用済みデジタルカメラなどの二次電池を一般社団法人JBRC^{*1}を通じてリサイクルしています。

※1 一般社団法人 JBRC (Japan Portable Rechargeable Battery Recycling Center)：資源有効利用促進法に基づき、小形充電式電池の再資源化を推進する団体。



バッテリーのリサイクルマーク

ニコン製品のリユース・リサイクル

世界各国の使用済み電気・電子機器の回収・リサイクルについても、最新の情報に基づき各国の法規制に準拠した取り組みを進めています。

特に欧州では、WEEE指令^{*2}に基づき、国ごとに使用済み電気・電子機器の回収・リサイクルに関する法規制が整備されています。

ニコングループでは、それらの法規制に対し、デジタルカメラなど、ニコン製品の回収・リサイクルの義務を果たす取り組みを進めています。海外では、これまでに30力国以上の回収組織などへの参加登録を行っており、各国においてリサイクル体制を整えています。国内では、小型家電リサイクル法^{*3}に対応するため、製品の設計段階でアセスメントを実施し、解体しやすい設計、使用原材料の種類の削減、リサイクル済み資源の積極的活用などを推進しています。

また国内外においてのリユースの取り組みとして、映像製品やヘルスケア製品をメンテナンスし、リファーマビリティ品として販売するサービスを行っています。

※2 WEEE 指令 (Waste Electrical and Electronic Equipment)：2003年にEUが制定した法律 (2012年改正) で、使用済み電気・電子機器の回収・リサイクルにおける加盟国の義務を定めている。

※3 小型家電リサイクル法：2013年4月1日施行。デジタルカメラやゲーム機などの使用済み小型電子機器における再資源化の促進を目的としており、国、地方公共団体、事業者、製造者などの責務が定められている。



EUにおけるリサイクルのためのマーキング

CONTENTS

目次・編集方針・グループ概要

トップメッセージ

サステナビリティマネジメント

価値創造

環境

環境マネジメント

気候変動への対応

製品・容器包装の3R

廃棄物等の管理・削減

水資源の保護

有害化学物質の管理・削減

生物多様性の保全

社会

ガバナンス

製品への再生プラスチック材使用

ニコングループでは製品アセスメントの評価項目にリサイクル材の使用を評価項目として設定し、開発段階から積極的なリサイクル材の使用を推進しています。現在、デジタルカメラや交換レンズ、双眼鏡のキャップなどに再生プラスチック材を採用しています。



双眼鏡の接眼キャップ

容器包装材のリサイクル

ニコングループは、製品の容器包装材に各国で定められたリサイクルマークや材質表示を行うことで、分別回収を容易にしています。

例えば日本では、デジタルカメラなどニコン製品の容器包装材のリサイクルを、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会への委託契約により進めています。

欧州では、EU包装規則に基づき、各加盟国で国内法による包装廃棄物の回収・リサイクルシステムを構築しています。ニコングループは、欧州においても各国のリサイクル機関に回収リサイクル料金を支払うことで、各国における容器包装材の回収・リサイクル促進に協力しています。



各国のリサイクルマーク例

容器包装におけるプラスチック削減

ニコングループでは、使い捨てプラスチックの削減を重要なテーマのひとつと位置付け映像製品だけでなく、産業用製品についても、容器包装において使い捨てプラスチックの使用量の削減や紙系材料への変更などの取り組みを推進しています。

ヘルスケア製品の生物顕微鏡「ECLIPSE Ti2-E」の包装では、これまで使用していた発泡プラスチック製の緩衝材をすべて紙製に変更しました。さらに規定の落下・振動試験に耐えうる梱包形状を検討し、梱包材重量の約16%削減とともに金属留め具の廃止を実現しました。

これらの取り組みは、環境負荷低減と製品品質の両立が評価され、公益社団法人日本包装技術協会主催の「2025日本パッケージングコンテスト」において、「テクニカル包装賞」を受賞しました。さらに、世界包装機構（WPO）主催の「ワールドスター2026」においても、パッケージ分野で世界的に権威のある「ワールドスター賞」を受賞しました。



生物顕微鏡「ECLIPSE Ti2-E」の包装

植物由来プラスチック包装材の採用

ニコングループでは、石油由来プラスチックの使用量の削減施策として、包装材の植物由来プラスチックへの変更の取り組みも進めています。一部のヘルスケア製品や産業用製品では、発泡プラスチック緩衝材を石油由来から植物由来へ切り替えを行いました。



植物由来プラスチック使用事例